

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に努め、寒い冬を元気に過ごす。 ・身の回りの簡単なことに自分で取り組もうとする。 	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 ・身体計測 ・避難訓練 	長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育者と食事や遊びを楽しみ、ゆったりと過ごす。 	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態が把握できるよう連絡を密にとり、体調に応じた活動ができるようにする。 ・できるようになった事や好きな遊びなどを伝え、成長を喜べるようにする。 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に戸外遊びを行った。園庭遊びは他クラスの子とも手をつないだり、担任以外の保育士と交流ができ、いい経験ができた。 ・絵本を他クラスやメダカ文庫から借りて、毎日4冊以上読んできた。今後も興味にそった絵本選びをして楽しんでいきたい。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項			取り組みの状況と保育士の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに鼻水を拭いてもらったり、手洗いをしたり、健康に過ごせるようにする。 ・衣服の着脱を保育者に手伝ってもらいながら、自分でやってみようとする。 ・指先を使った様々な活動を楽しみ、試行錯誤を重ねる経験をしていく。 ・絵本や保育者の語り掛けにより、言葉の理解が進み、発語への意欲を持つ。 ・いろいろな食材の名前や味、口当たりを感じながら楽しく食事をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の配置やスペースの取り方などを工夫し、玩具の点検や消毒をし、清潔な環境を整える ・衣服の着脱時は、保育者の温かい言葉かけやスキンシップなど意欲が持てるような雰囲気を作る。 ・引っ張る、めくる、つまむなどの動作を楽しめる玩具を用意する。 ・いろいろな分野の絵本を用意する。 ・食べ物に関心を持てるよう、食べ物の絵本を用意したり、散歩で商店街を通り店先に並ぶ物を見る体験をしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・優しく声を掛け、スキンシップをしながら鼻を拭いたり、衣服の着脱したりするように心掛ける。 ・玩具を用意する際、大きさなどに留意し、誤飲や怪我がないように配慮する。また、少人数でじっくりと遊べるよう工夫する。 ・絵本を見る際、保育者が一方的に進めず、子どもが発語したい時に言えるように、子どもの様子に気を配る。 ・初めて口にする食品を提供する際は、そのおいしさが経験できるよう気持ちを添えた言葉をかける。 			<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやりたい気持ちを受け止め、一人一人が満足できるように応答的な関わりを持つことができた。 ・指先を使う玩具を購入し、発達に応じた介助することで楽しめていた。さらに子どもたちが作ったものをつなげたり、色の組み合わせを工夫したり、遊びを広げていきたい。 ・絵本をみんなで見ることで、子ども同士の関わりが増え、意気揚々に動物や物の名前を言う子が目立ってきた。今後は絵本を通して、まねっこ遊びなど、活動内容を考えたい。 ・一人一人の食事の状態に応じて声を掛けたり、本人の意思を尊重したり、子どもが気持ちよく食べられていたと思う。十分におかわりができるよう調理室と相談していきたい。 	